臺灣日日新報 夕刊
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十五年二月二十二日（木曜日）
第一万四千三百四十七號
二月二十一日
夕刊定価一部二錢

明年度總豫算案けふ 衆院豫算總會で可決
附帶決議附き無修正

【東京二十一日發同盟】明年度總豫算案に對する各派の態度決定の結果いづれも全會一致をもつて原案を可決すべき旨二十日の代議士會において決定したので二十一日第八分科會を開き總豫算に對する各派の態度決定の結果いづれも全會一致をもつて原案を可決後一時より總會を開き可決すべきことに決した、尚ほ分科會の決定は次の如くである

重光大使、英外相訪問

【ロンドン二十日發同盟】【倫光】英大使は廿日午前十一時半より第一次官邸においてハリファックス外相と會見し日英間諸問題に關し意見の交換を行つた模様である、尚ほ同會見は午後一時半まで續けられたが會見後重光大使は記者團に對し會見の内容に關しては何等語らなかつたと傳へられる

日英國交を調整
英國政府に有力機運

【ロンドン二十日發同盟】【倫光】英大使は廿日午前十一時半より第一次官邸において重光大使と會見したが會見後重光大使は記者團に對し會見の内容に關しては何等語らなかつたと傳へられる

日亞通商促進へ
日亞通商審議會開く

【東京二十一日發同盟】アルゼンチン經濟使節團との日亞兩國間二囘の通商促進を圖るため經濟關係打開交換、兩國間の文化關係增進等に關する提案、兩國側より出る羊毛、カゼイン、小麥その他の對日輸出增加の可能性に關する問題、日本の爲替管理等に關する問題等に關し二十一日午前十時より丸ビル内日本工業俱樂部第二囘の日亞通商懇談會において開かれた、先づ經團連副會長の挨拶に次ぎキンタナ團長の挨拶あり、直ちに入り、日本側より日下三問題對して各品の輸入に關し

土國最高軍事會議
近東情勢惡化に對應

【アンカラ二十日發同盟】近東諸國の戰爭擴大化に關聯しトルコ共和國內の戰時體制强化に努力しつゝあるが、最近の國內外の情勢に鑑み、去る十七日より首相兼國防相イスメット將軍の主宰の下に、二十日は同じく二囘開催される豫定で、同會議は向ふ二囘開催される豫定で、同會議は向ふ二囘開催される豫定で、同會議は向ふ

日本人は比類なき愛國心の所有者

伊のフ氏日本を絶讃

【ロンドン二十九日發特約電報】有名な音樂指揮者であり印度研究家として知られて居るイタリー学士院會員ピエトロ・フォルミシイ教授は最近日本各地の大学、專門学校に於て講演を行つたが日本訪問の印象に就いてイタリーの指導的雜誌「ニュオヴ アントロジア」に論文を寄せて居るが、右論文のなかで彼は日本の國民性に感銘した點に就き次の如く述べて居る

日本人その點に關する文化的に卓越する文化國であることを特に強調して居る、更に現在より以上に日伊文化關係を强化する必要を力說し次の如き結論を下して居る

現在世界中に於てイタリーが政治的に商業的に文化的にその關係を强化する必要のある國がありとすればこれは日本を措いて外にない

島都に新名所

夕涼みの逍遙地と魚釣り場

臺北工業橫の大掘割

臺北市吉野町、榮町、幸町、蓬萊町一帶は國家になると水源地山手方面から雨水がどうと押し寄せ、從來幾たびの浸水を蒙るので市當局ではこの水害を未然に防止するため去る昭和十一年度から繼續事業として經費百萬圓を以て西側から南に向ひ水源池に至る約二哩半の大掘割（クリーク）を工事中のところ、この程に至つて工事學校西側から三線道路に至る約一粁の第一期工事を完成した掘割の幅員は廣いところで十米、狹いところで六米、その掘割をはさんで西側に十六米の道路が開鑿され掘割の土手には一面に芝生が植栽されまた掘割には帝都市に相應しい水上運動場、釣場、夏の夕涼みの逍遙地、魚釣り場等が設けられ掘割の上にはべンチを據ゑ付ける計畫なので完成した際には素晴らしい散策道路としてまた夕涼みの逍遙地として市民の人氣を集めるであらう、現在迄に要した工事費は三十万圓に達してゐるが全工事が完成する迄には約二百万圓を要する見込であるが市當局では新たにデユーしたこの名所を郷州通りと名付け、市民に親しませる筈となつた、尚この掘割の役目は前記の如く雨季、水源地山手の雨水を基隆川に導入し吉野町、榮町、幸町、蓬萊町一帶を浸水禍から救ふほかクリークに各種娛樂設備を施し一般市民をして自由に釣に樂しませる計畫であり、その點早くも釣天狗より期待されてゐる

全島華僑和平建國大會

宣言決議は施氏が携行歸國

臺灣在住各方面の華僑は汪精衛氏が重慶を脫出し和平救國運動を提唱して以來全世界に亘り國內の平和來の一日も早から氣を焦慮し來つたが今回汪精衛の特使施文石氏の來臺を機會に來る二十三日午前十時より臺北市旭町臺灣劇場に於て全島華僑和平建國大會を開催し汪精衛氏の新政權に對する態度を明確にすることとなつた、同大會に於ける宣言決議は施氏が携行して歸國し、臺灣華僑の態度を親しく汪氏に報告する筈である

白衣の勇士

慰問音樂會

臺北女子高等學校では二十三日（來る）午後二時から同校講堂に於て紀元二千六百年祝賀の音樂會を開催し市中の傷病兵を慰問する筈である

天皇陛下行幸

陸軍士官學校卒業式に

【東京二十一日發同盟】天皇陛下には來る二十七日陸軍士官學校卒業生徒卒業式に行幸あらせられる筈、二十一日仰出された

英靈內地へ

高砂丸でけふ離臺

【高雄發電話】內地歸還の英靈○○柱は二十一日午前八時五十二分着高雄驛着多數の見送りを受けて無事歸臺、直ちに同十一時出發の高砂丸で內地へ向け離臺の途についた

臺灣華僑は幸福

汪氏の特使施文石氏談

先生の如き新興國運動に偉大の貢獻を爲して居る點を知つて今更私が何等か作を述べる必要がない事が判りました、吾汪の平和工作は先般來重慶汪氏の脫出に行つて活動した結果汪氏の眞意を認識し中日和平の絶對に必要なものの整つて來たものと信じます、シンガポールに於ける華僑は汪氏の平和工作を支持し來つたが今回汪精衛の特使施文石氏の來臺を機會に來る二十三日午前十時より臺北市旭町臺灣劇場に於て全島華僑和平建國大會を開催し汪精衛氏の新政權に對する態度を明確にすることとなつた、同大會に於ける宣言決議は施氏が携行して歸國し、臺灣華僑の態度を親しく汪氏に報告する筈である

航空無線標識

內臺間に四月一日より實施

【東京二十一日發同盟】航空機の安全飛行を期するラヂオビーコン（航空無線標識）は臺北飛行場に於ても二十一日午前七時九分より發信を開始、引續き松山（臺北飛行場）、平岡（新竹飛行場）、屏東（高雄飛行場）の各ビーコンも發信を開始した

本島關係から獻納の

海軍軍用兵器命名式

二十四日午後一時

海軍省では本島關係から獻納した海軍軍用兵器命名式を左記により夫々兵器製造廠又は製造所に於て擧行することとなつた

記

一、日時　二十四日午後一時

二、場所　呉海軍工廠、佐世保海軍工廠、舞鶴海軍工作部、横須賀海軍工廠、横須賀海軍航空廠、霞ケ浦海軍航空隊、大村海軍航空廠、佐伯海軍航空隊、鹿屋海軍航空隊、高雄海軍航空隊

三、命名者　呉海軍工廠＝高雄州知事、佐世保海軍工廠＝臺北州知事、舞鶴海軍工作部＝臺北州知事、横須賀海軍工廠＝臺北州知事、横須賀海軍航空廠＝臺北州知事、霞ケ浦海軍航空隊＝臺北州知事、大村海軍航空廠＝臺北州知事、佐伯海軍航空隊＝臺北州知事、鹿屋海軍航空隊＝臺北州知事、高雄海軍航空隊＝臺北州知事

四、命名される兵器の名稱、獻納者の氏名は左の通りである

兵器名	獻納者名
防空艦	臺灣有志
驅逐艦	張山顏
測距儀	頂厝街
艦攻	頂厝街
艦攻	頂厝街
艦攻

麻疹の症狀と手當

豫防の注射は效果がある

この頃子供のある家庭で注意されていることは麻疹についてであります。麻疹は傳染力が非常に強くこれほど強力な傳染性を有するものは他にないといわれてゐますから、もし一家族中に一人の麻疹患兒が出たら、他のまだこれを經過したない子供に注意しないと、すぐ感染します。麻疹は、二週から六週の間に一度は必ずかかる病氣で、一生涯麻疹は一度しか出來ても二度とかからないものです。一般に、年齢が小さい程輕くても輕いといはれますが、それは事實でその代り小さい赤ちゃんほど、それに合併病が出た場合に重症に陷り易く、年長兒童の場合はその危險が少いから必ずしも小さい間は輕症で濟んだ方がよいとは限りません。むしろ出來るだけ大きくなつて罹る方が安全のやうです。

×

麻疹そのものは大して心配する程の病氣ではないのですが、往々合併症が生命を縮はれるのはおそろしい傳病の場合であります。その中でも一番多いのは氣管支肺炎で、これは小兒麻疹の中で一番死亡率が高いものですから、特に警戒しなければなりません。その次に多いのは中耳炎でこれは往々腦膜炎を誘發して、生命を危險に陷れるものであります。又、非常に恐れられてゐるものは麻疹の內攻です。これは麻疹の中途で身體を冷したやうな場合に起り易いものですが、急に中途で消えてしまひ、子供は急に衰へてチアノーゼの症狀を起し危險に陷るものであります。これは麻疹發疹の現はしたしるしで危險です。又麻疹の後では結核に罹ることが多いのですから、特に充分攝生しないといけません。

×

以上は麻疹の恐ろしい併發病についてですが、麻疹の全部がさういふ狀態になるものではなく、この方面に全然關係のない輕い麻疹の方が多いのであります。と申しますのは、この病氣の經過中に乳腺炎とか、腦膜炎とか或は腦膜腦炎といふ恐しい傳病を起す病氣があるといふ事實を併發したら、發兒の生命は大危險に瀕らされます。よしんば、この傳病を起すに病んでも、いつまでも治らずにゐて慢性の中耳炎になつて、時々治りにくく苦しむのです。

△

中耳炎はかうして普通自然に治るとすれば、左程心配の要る病氣ではありませんが、實はこれは非常にやつかいな病氣なのであります。と申しますのは、この病氣の經過中に乳腺炎とか、腦膜炎とか或は腦膜腦炎といふ恐しい傳病を起す病氣があるといふ事實を併發したら、發兒の生命は大危險に瀕らされます。よしんば、この傳病を起すに病んでも、いつまでも治らずにゐて慢性の中耳炎になつて、時々治りにくく苦しむのです。

△

中耳炎はかうして普通自然に治るとすれば、左程心配の要る病氣ではありませんが、實はこれは非常にやつかいな病氣なのであります。と申しますのは、この病氣の經過中に乳腺炎とか、腦膜炎とか或は腦膜腦炎といふ恐しい傳病を起す病氣があるといふ事實を併發したら、發兒の生命は大危險に瀕らされます。よしんば、この傳病を起すに病んでも、いつまでも治らずにゐて慢性の中耳炎になつて、時々治りにくく苦しむのです。

△

急性中耳炎が起ると先づ急に耳が痛んできてひどい時は激しい頭痛を起してきます。そのために子供は泣き叫んで暴れ、頭痛を訴へることがしばしばあつて、家人は頭痛にばかり氣をとられ、原因の耳に氣づかぬことがよくあります。

△

この頃、子供の中耳炎が多くなつてゐるやうですが、これは多くは急性で、腦膜炎や腦膜腦炎に變化するものです。中耳炎はこの他に麻疹、猩紅熱、チフス、ヂフテリーなどからも發生するものが少くありません。その他水または食物が入つたために起ることもあります

馬に乘る猿

(82)

石川達三作・伊東顯畫

密議（七）

凱力大合同が成立して、初めて出來あがつた三州來電の社長にをさまつた片岡文吾は、年の瀬の押しつまつたある日、西京からの招待を受けとつた。

「ユフカタニク オメニカカリタシ　ゴゴ ウカノム タケシタカンベイ」

竹下陸軍はたとひ名譽だけにもせよ三州來電の顧問であつて、片岡としては合同以前から相當の因縁もある。因縁がふかいだけにもよつと會ひたくない氣がした。會へばきつと何かうるさいことを賴まれて、引こみがつかなくなるのではないかという危惧があつた。しかし、勝手な想い。會社に居れば案内を乞はずに社長室にはいつて來るし、會社に居なければ自宅に來るし、態行してしまつては癪まで追つてある。竹下陸軍から逃れる術はなかつた。彼にだろういふ勘働きはまるない淺薄さがある。結局おとなしく會ふのが一番いいだらうと、片岡は思案を思つた。そして夕方までにつと社長室に居た。

しかし元々他界のことであり、金と女に目がきとの非難をうけつつも見れば、かういふ紙背が一番いものを言ふに選びないので、片岡文吾にして見ても、お互ひに腹ひつ喰はれつしながら相對ひ相助けて行く世界であることは熟知してゐた竹下陸軍がどういふ用件で來るのか知らないが、むしろ今では一つの安心として彼を待つ氣持であつた。

陸軍と同様の眼から出でかけつけた。師走の街に門のともる頃であつた。師走の街に門のともる頃であつた。師走の街に門のともる頃であつた。

彼は、ふかふかとがいオーヴアにぐるまり、葉巻を噛へ金縁眼鏡を光らせて、もはや望みたる官位の頂點に出來てゐた。

受付の少年の案内に導かれて、すぐに二階に昇ると、

「やあー！」

と言ひながら部屋に入つた。

「やあーどうだね。久しぐつやうやくなかつたですな」

「いやどうもいろいろかうとうも御無沙汰でね」

そう言はれて片岡社長は出かけもしもの彼もまた陸軍の官位であつたのだ。軍金を出し株を持つたといふだけで、また陸軍が有つたわけでもなし、十一月末の總會には株主たし、不當役のからくは戰場しの方の株の無いものに終るだらう。そこでたまには二ヒテックな味もさんか、時には他でめしやの關係を暗示させるといふ具合に二人共に笑を浴びした味の深い盛んにふり撒いたのである三人は戰場の演技が最初を繰げて行つた證據に於て、いつか一定の結果が發生して、これが

今週の映画

南の誘惑

廿三日から大世界館

ラファの特作で監督はデトレ・ジールク、主演はツアラー・レアンダー楊柳・瑞典の娘アスレートは伯母に連れられてキューバの西にある無情の島エルト・リコに旅をした、陸軍大佐の娘アストックホルムに引かへ明るくて美しく艶麗なハバナの町が描れは流ちよい對話の上に面白さにはここに限り無限の興味を與る面に成功した。この島で博士はアスレートを見て彼女が不幸である事を知つた。ドン・ペドロに心力を感じた。はたはたに「おお、なんと美しい方だらうね、君等や三號にひけないが、君力を一つ御指定してくんないかな。はたはたに」「うむ、僕はちよつと用に差つてあやまりませんが……」「まあなんでせう、大佐こちからどうです？」「さうだね。外務當局はどうなんだ」「こつちに居ますから西原せ

演出と表現法

歌舞伎と支那劇の研究（八）

世界の演劇史上に、我が歌舞伎ほど複雑極まる味を持つものは他にはなからう。歌舞伎の内容は說明するところ、仁義道徳の芸術と芸能藝術の人物との關係の說明し難いものである。既になるからいつたものの深く考へたならば、我

臺灣日日新報
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）昭和十五年二月二十二日（木曜日）臺灣日日新報 第一万四千三百四十七號 A（一）
日本夕刊共二十二頁
發行所 臺灣日日新報社
臺北市榮町三丁目四番地
電話 代表九八〇五番 編輯局二四八三番 營業局二四八六番
振替口座臺灣二八〇番
料金 本社一部六錢（一月金四圓五拾錢・六月金八圓五拾錢・十二月金拾六圓）（日本國內各支局送料不要）
廣告 普通欄一行十五字一回金壹圓 特別欄一行一回金貳圓 社會面一行一回金壹圓五拾錢
定價 本紙一部六錢（一月金四圓五拾錢・六月金八圓五拾錢・十二月金拾六圓）（日本國內各支局送料不要）

臺灣日日新報

附帶決議を尊重（首相言明）

明年度豫算案を可決した
きのふの衆議院豫算總會

三土委員長 劉建緒は爆死

竹內企畫院總裁 生産力擴充計畫の實現と冬後の見透きに就て說明を願ひたい

三土委員長 先般秘密會において質問された昭和十四年度における生産力擴充、物資動員計畫の實現と冬後の見透きに就て說明を願ひたい

米內首相 只今議決せられました附帶決議に對しては政府は充分之が趣旨に副ふ樣努力いたします

荻原氏 政府は本豫算の實行に當つては經濟の法則を無視し過度の統制を避け、國民生活の安定を期すべし

山本芳治氏（政友中間） 一、物動計畫の遂行に萬全を期すること 二、低物價政策は時局變り一切に拘はらず之を堅持すること

劉建緒は爆死

政民共同の附帶決議

綿製品の製造を限り認める

許す

臺灣の增產計畫

農林省が委員會で發表

來年度の內地酒 臺灣は半減

製造聯合會で決定

英首相強硬演說

諸威の態度を攻撃

ア號事件

包圍陣を壓縮

魯東地區 肅淸戰

榮城を包圍

選擧制度の改正 熱意を以て善處

兒玉內相が言明

精動の改組 は研究中

芬軍反撃

無警告攻撃をやれば 英佛兩國も强力手段

亞國使節團の 歡迎晚餐會

日亞通商審 議會の經過

獨人引渡の 方法、時期を協議

英大使、谷次官と會見

羅國王の訪伊を 伊國官邊は否定

天無口

貴族院 衆議院

けふの兩院

人事

豫算案は結局無修正承認

二百二億四百二十七萬圓に上る臨時軍事費豫算案は二十日貴衆兩院各本會議に上程、第一讀會に入り、衆議院では豫算委員長より經過報告があり、質疑應答の後、午後四時二十分散會、二十一日午前十時より本會議を開き、豫算委員會の審議

社說

一臺鮮と内地式改姓の方式
"無差別観"に新しい一手

一

政府は、去る十一日の紀元節を期とし、朝野各方面の熱望に応じて本島人や鮮人に對し内地人式の姓に改める途を新たに開き其の受付を開始した。これは言ふまでもなく両地の民衆が、近年一特に躍進著しい皇國民的自覚に目ざめ、一足飛びに皇國民意識に近接して来たが為めで、外形上の氏名の改正に於ても敢て内鮮人又は内鮮人の区別を必要としないことを感認したものと観るべきである。然も此の画期的に大胆な施策が、皇紀二千六百年の由緒深い日より開かれたということは、後世永く記憶すべき条件であることと共に、朝野両地に於ては相當の感激を以て迎ふべき大慶賀であり、皇民化への形式上の一進歩と申すべきであると思ふ。

二

朝鮮には"内鮮一體"のスローガン、"内鮮一如"の標語が夙れ、"内鮮融和"、"内鮮提携"等は既に日常語化されてゐる程、近来内鮮関係は急速度に改善されて来たが、尚ほ内鮮人の間には、内地人に對する一種の警戒心や反感が潜在してゐることは否定出来ない。此の根本的原因は、内地人の朝鮮人に對する優越感と、朝鮮人の内地人に對する劣等感とに基くものであるが、此の感情的対立を解消し、内鮮一體の実を挙げるには、内鮮間に何等の差別をも設けない一如の扱ひが最も必要であると思ふ。

三

内鮮人の間の差別撤廃は、形式上から何の困難もなく実行出来るが、内面的には、一朝一夕に相當の年月を要するであらう。尤も内地人側に於ても、朝鮮人に對する従来の観念を改めて、朝鮮人を内地人と同様に取扱ふ様にならなければならぬ次第だ。それにしても"内鮮一如"といふ標榜が、今回の改姓に依て部分的ではあるが兎に角実現し、先づ形式上から内鮮人間に"無差別"の第一歩を踏み出したといふことは、外地民衆のため実に仕合せ此の上なしと思ふものである。

四

内鮮人の間の差別撤廃は、形式上から何の困難もなく実行出来るが、内面的には、一朝一夕に相當の年月を要するであらう。尤も内地人側に於ても、朝鮮人に對する従来の観念を改めて、朝鮮人を内地人と同様に取扱ふ様にならなければならぬ次第だ。それにしても"内鮮一如"といふ標榜が、今回の改姓に依て部分的ではあるが兎に角実現し、先づ形式上から内鮮人間に"無差別"の第一歩を踏み出したといふことは、外地民衆のため実に仕合せ此の上なしと思ふものである。

解決した日米懸案
外務省情報部長談

【東京二十日發同盟】有田外相は去る十四日の衆議院予算総会に於て「最近外務当局要路の間に於ける日米両国間の懸案に関して外務省で取上げてゐるものは一言数十件に上つてゐる」旨言明し、その内訳について説明を行つた結果、左記六件は既に解決に至つた結果、左記六件は既に解決に至つた結果、左記六件は既に解決に至

（第三種郵便物認可）　昭和十五年二月二十二日（木曜日）　臺灣日日新報　第一万四千三百四十七號　（三）

島内銀行預金は 二億二千萬圓臺へ

事變前より一億四千萬圓の著増

台銀調査、一月末現在に於ける島内各銀行の預金、貸出金殘高を見るに預金に於ては三億二千二百八十九万四千円と昨年同月末に比し百八十九万七千円を増し、前年同月末に比しては六千三百四十五万八千円の激増である、更にこれを事変直前たる十二年六月末日に比べると実に一億二千九百九十八万四千円の激増である、次に一万貸出金に見ると二億六千七十万円となり前月に比し百七十二万円の減、前年同月末に比しては五千四百十八万四千円の増加である、尚ほこれを事変直前の十二年六月末に比すると八千八百七十二万円の激増である、以上を表示すれば次の如くである

（單位千円）

各銀行預金貸出金殘高

	預金			貸出金		
	普通銀行	貯蓄銀行	計	普通銀行	貯蓄銀行	計
昭和十五年一月末	三二五、六二四	一〇、三二三	三二五、九四八	二〇五、三二四	一〇、三二三	二一五、六四八
前月末	三二五、四四二	一〇、三二三	三二五、七六五	二〇五、四九六	一〇、三二三	二一五、八二〇
昭和十二年六月末	二九五、三八一	一〇、三二三	二九五、七〇四	一九四、三二四	一〇、三二三	二〇四、六四八
前年同月末比較増減	二九、八六一	一、〇〇〇	三〇、八六一	一一、一八〇	一、〇〇〇	一二、一八〇
前年同月末比較増減率（%）	一〇・〇	九・七	一〇・〇	五・七	九・七	五・九
昭和十二年六月末（事変直前）比較増減	二〇、四六一	一、〇〇〇	二一、四六一	一一、一八〇	一、〇〇〇	一二、一八〇
事変直前比較増減率（%）	六・九	九・七	七・二	五・七	九・七	五・九

臺灣にも近く 陸運統制令を實施

優先輸送等に法的根據を付與

国家総動員法第八條の規定に基く陸運統制令は去る一月三十一日附を以つて勅令第二十七號に依り公布され内地に於ては既に來る二十五日から実施される運びとなつてゐるが、本島に於ても之が実施に當り万遺憾なき期する爲二十一日より二週間に亘り鉄道部會議室に於て關係各方面相寄つて打合せ會を開催、施行細則その他總督の諮詢事項等を附議されたが、其の結果は左記の通りで決定し、各機關共後約半年乃至一年を期して逐次實施することとなつた

記

一、陸運統制令は本島に於ても内地と同樣實施すること

二、陸運統制令第八條の規定に依り陸上運送者に對し設備の共用、運賃運賃其の他の事項に關する統制協定の設定、變更又は取消を命ずる事を得

とある如く、從來陸運に行はれてゐた、麥、澱粉、砂利、セメント、木材、石炭、鐵、木炭、斷石、鉄鋼等の輸送の優先に對し法的根據が與へられ、いざと云ふ緊急の場合には一切の形となる訳で未曾有の輸送難と謳つてゐる鉄道部としては極めて仕事がやりよくなるである

鮮米、移出米、移入雜穀合計一八、三五一人の小委員會を開き、配給加入市場員の參加問題を協議の後、大阪府外一府十一縣の配給組織は二十一日設置問題、臺灣大阪間の鮮米二万俵増送問題、二十一日より鉄道本部會議室に於て關係各方面相寄つて打合せ會を開催、施行細則その他總督の諮詢事項等を附議されたが、其の結果は左記の通りで決定し、各機關共後約半年乃至一年を期して逐次實施することとなつた

記

一、陸運統制令は本島に於ても内地と同樣實施すること

二、陸運統制令第八條の規定に依り陸上運送者に對し設備の共用、運賃運賃其の他の事項に關する統制協定の設定、變更又は取消を命ずる事を得

とある如く、從來陸運に行はれてゐた、麥、澱粉、砂利、セメント、木材、石炭、鐵、木炭、斷石、鉄鋼等の輸送の優先に對し法的根據が與へられ、いざと云ふ緊急の場合には一切の形となる訳で未曾有の輸送難と謳つてゐる鉄道部としては極めて仕事がやりよくなるである

新貯蓄債券

奉祝記念で前景氣上々

紀元二千六百年奉祝記念貯蓄債券（第十六回貯蓄債券）は既報の通り三月五日より發賣されるが、島内關係方面の申込は非常に多く、殊に記念貯蓄のよい對象として關係方面からの申込が多く、大口の申込があり此の分では發賣當日忽ちにして全部賣切となるのではないかと豫想されてゐる

臺銀	一、〇〇〇
臺信	部
臺商銀	一、〇〇〇
澎湖信組	一、〇〇〇
勧銀各支店	一、〇〇〇
興銀	一、〇〇〇
三和銀行	一、〇〇〇
西一銀行	二、〇〇〇
貯蓄銀行	一、〇〇〇
彰化銀行	一、〇〇〇
華南銀行	一、〇〇〇
無盡會社	一、〇〇〇
其他	三、〇〇〇
合計	一七、〇〇〇

三和銀行鷲尾氏 廿五日離臺

滿洲の暴動で本店主計課次長に緊

内外商況（廿一日）

大米雜觀

【東京二十一日發同盟】當業者一人、正米一人の小委員會を開き、配給加入市場員の參加問題を協議の後、大阪府外一府十一縣の配給組織は二十一日設置問題、臺灣大阪間の鮮米二万俵増送問題、二十一日より鉄道本部會議室に於て關係各方面相寄つて打合せ會を開催、施行細則その他總督の諮詢事項等を附議されたが、其の結果は左記の通りで決定し、各機關共後約半年乃至一年を期して逐次實施することとなつた

記

一、陸運統制令は本島に於ても内地と同樣實施すること

二、陸運統制令第八條の規定に依り陸上運送者に對し設備の共用、運賃運賃其の他の事項に關する統制協定の設定、變更又は取消を命ずる事を得

とある如く、從來陸運に行はれてゐた、麥、澱粉、砂利、セメント、木材、石炭、鐵、木炭、斷石、鉄鋼等の輸送の優先に對し法的根據が與へられ、いざと云ふ緊急の場合には一切の形となる訳で未曾有の輸送難と謳つてゐる鉄道部としては極めて仕事がやりよくなるである

府警務局の調査によれば昭和十四年十二月中の本島に於ける食料品小賣價格騰落狀況左の通りであるが、本島に於ても之が実施に當り万遺憾なき期する爲二十一日より二週間に亘り鉄道本部會議室に於て關係各方面相寄つて打合せ會を開催、施行細則その他總督の諮詢事項等を附議されたが、其の結果は左記の通りで決定し、各機關共後約半年乃至一年を期して逐次實施することとなつた

記

一、陸運統制令は本島に於ても内地と同樣實施すること

二、陸運統制令第八條の規定に依り陸上運送者に對し設備の共用、運賃運賃其の他の事項に關する統制協定の設定、變更又は取消を命ずる事を得

とある如く、從來陸運に行はれてゐた、麥、澱粉、砂利、セメント、木材、石炭、鐵、木炭、斷石、鉄鋼等の輸送の優先に對し法的根據が與へられ、いざと云ふ緊急の場合には一切の形となる訳で未曾有の輸送難と謳つてゐる鉄道部としては極めて仕事がやりよくなるである

島内食料品 小賣値騰落

―府警務局の調査―

【東京二十一日發同盟】内外為替の自由売買から成行きの姿を示し一向見るべき變化なく、新東の保合小商ひを始め全面的に仕手筋薄く依る小動きを繰返した、當面取組も七千万俵臺に過ぎず自先主導の下値の買ひも期待薄となつてゐるものと見られ尚暫く閑古鳥を聞くの外なき模様である

兜町夜場況

【東京二十一日發同盟】一般に形勢觀望の姿を脱け出兼ねての為め全面的に保合ひ商ひとなり、一部には下値の買ひも期待されてゐるものの何等かの動機なき限り尻證を追ふものと見られてゐる

東京短期後場

銘柄	前場	後場
新一三九	一三九	一三九
大新七一	七一	七一
同新七二	七二	七二
大新八二	八二	八二
同新八三	八三	八三
大新九二	九二	九二
同新九三	九三	九三
大新〇八	〇八	〇八
同新〇九	〇九	〇九
新〇八三	〇八三	〇八三

大阪短期後場

銘柄	前場	後場
新一三九	一三九	一三九
大新七一	七一	七一
同新七二	七二	七二
大新八二	八二	八二
同新八三	八三	八三
大新九二	九二	九二
同新九三	九三	九三
大新〇八	〇八	〇八
同新〇九	〇九	〇九
新〇八三	〇八三	〇八三

味の素販賣會社 一分增配

味の素販賣會社は本月二十日午後一時市内本町三丁目の同社で第三回定時總會を開催、昨年下半期の利益金處分案（一分增配に關する統制協定の設定、變更又は取消を命ずる事を得）及新株發行による定款變更の件を附議する由、同社は一昨年六月創立され同下期に年八分の初配當をなし昨年上期は配當制限令に依り二分減の年六分配當を餘したが其の結果協定以上に利益金を多く後期に繰越した事情と下半期は九・一八滿洲事の發の配給の圓滑を缺き年末柄語つて固定價格を許可され繰越配當に復した等綜合上相當條件ある關係を考慮に入れ期より一分增配を行ふことに決定したのである、尚次期は第一期同樣八分配當に復することになつてゐる

大阪短期後場

銘柄	前場	後場
大株	七三	七三
同新	七三	七三
大新七三	七三	七三
同新七四	七四	七四
大新七五	七五	七五
同新七六	七六	七六
大新七七	七七	七七
同新七八	七八	七八
大新七九	七九	七九
同新八〇	八〇	八〇
大新八一	八一	八一
同新八二	八二	八二
大新八三	八三	八三
同新八四	八四	八四
大新八五	八五	八五
同新八六	八六	八六
大新八七	八七	八七
同新八八	八八	八八
大新八九	八九	八九
同新九〇	九〇	九〇
大新九一	九一	九一
同新九二	九二	九二
大新九三	九三	九三
同新九四	九四	九四
大新九五	九五	九五
同新九六	九六	九六
大新九七	九七	九七
同新九八	九八	九八
大新九九	九九	九九
同新〇一	〇一	〇一
大新〇二	〇二	〇二
同新〇三	〇三	〇三
大新〇四	〇四	〇四
同新〇五	〇五	〇五
大新〇六	〇六	〇六
同新〇七	〇七	〇七
大新〇八	〇八	〇八
同新〇九	〇九	〇九
大新一〇	一〇	一〇
同新一一	一一	一一
大新一二	一二	一二
同新一三	一三	一三
大新一四	一四	一四
同新一五	一五	一五
大新一六	一六	一六
同新一七	一七	一七
大新一八	一八	一八
同新一九	一九	一九
大新二〇	二〇	二〇
同新二一	二一	二一
大新二二	二二	二二
同新二三	二三	二三
大新二四	二四	二四
同新二五	二五	二五
大新二六	二六	二六
同新二七	二七	二七
大新二八	二八	二八
同新二九	二九	二九
大新三〇	三〇	三〇
同新三一	三一	三一
大新三二	三二	三二
同新三三	三三	三三
大新三四	三四	三四
同新三五	三五	三五
大新三六	三六	三六
同新三七	三七	三七
大新三八	三八	三八
同新三九	三九	三九
大新四〇	四〇	四〇
同新四一	四一	四一
大新四二	四二	四二
同新四三	四三	四三
大新四四	四四	四四
同新四五	四五	四五
大新四六	四六	四六
同新四七	四七	四七
大新四八	四八	四八
同新四九	四九	四九
大新五〇	五〇	五〇
同新五一	五一	五一
大新五二	五二	五二
同新五三	五三	五三
大新五四	五四	五四
同新五五	五五	五五
大新五六	五六	五六
同新五七	五七	五七
大新五八	五八	五八
同新五九	五九	五九
大新六〇	六〇	六〇
同新六一	六一	六一
大新六二	六二	六二
同新六三	六三	六三
大新六四	六四	六四
同新六五	六五	六五
大新六六	六六	六六
同新六七	六七	六七
大新六八	六八	六八
同新六九	六九	六九
大新七〇	七〇	七〇
同新七一	七一	七一
大新七二	七二	七二
同新七三	七三	七三
大新七四	七四	七四
同新七五	七五	七五
大新七六	七六	七六
同新七七	七七	七七
大新七八	七八	七八
同新七九	七九	七九
大新八〇	八〇	八〇
同新八一	八一	八一
大新八二	八二	八二
同新八三	八三	八三
大新八四	八四	八四
同新八五	八五	八五
大新八六	八六	八六
同新八七	八七	八七
大新八八	八八	八八
同新八九	八九	八九
大新九〇	九〇	九〇
同新九一	九一	九一
大新九二	九二	九二
同新九三	九三	九三
大新九四	九四	九四
同新九五	九五	九五
大新九六	九六	九六
同新九七	九七	九七
大新九八	九八	九八
同新九九	九九	九九
大新〇一	〇一	〇一
同新〇二	〇二	〇二
大新〇三	〇三	〇三
同新〇四	〇四	〇四
大新〇五	〇五	〇五
同新〇六	〇六	〇六
大新〇七	〇七	〇七
同新〇八	〇八	〇八
大新〇九	〇九	〇九
同新一〇	一〇	一〇
大新一一	一一	一一
同新一二	一二	一二
大新一三	一三	一三
同新一四	一四	一四
大新一五	一五	一五
同新一六	一六	一六
大新一七	一七	一七
同新一八	一八	一八
大新一九	一九	一九
同新二〇	二〇	二〇
大新二一	二一	二一
同新二二	二二	二二
大新二三	二三	二三
同新二四	二四	二四
大新二五	二五	二五
同新二六	二六	二六
大新二七	二七	二七
同新二八	二八	二八
大新二九	二九	二九
同新三〇	三〇	三〇
大新三一	三一	三一
同新三二	三二	三二
大新三三	三三	三三
同新三四	三四	三四
大新三五	三五	三五
同新三六	三六	三六
大新三七	三七	三七
同新三八	三八	三八
大新三九	三九	三九
同新四〇	四〇	四〇
大新四一	四一	四一
同新四二	四二	四二
大新四三	四三	四三
同新四四	四四	四四
大新四五	四五	四五
同新四六	四六	四六
大新四七	四七	四七
同新四八	四八	四八
大新四九	四九	四九
同新五〇	五〇	五〇
大新五一	五一	五一
同新五二	五二	五二
大新五三	五三	五三
同新五四	五四	五四
大新五五	五五	五五
同新五六	五六	五六
大新五七	五七	五七
同新五八	五八	五八
大新五九	五九	五九
同新六〇	六〇	六〇
大新六一	六一	六一
同新六二	六二	六二
大新六三	六三	六三
同新六四	六四	六四
大新六五	六五	六五
同新六六	六六	六六
大新六七	六七	六七
同新六八	六八	六八
大新六九	六九	六九
同新七〇	七〇	七〇
大新七一	七一	七一
同新七二	七二	七二
大新七三	七三	七三
同新七四	七四	七四
大新七五	七五	七五
同新七六	七六	七六
大新七七	七七	七七
同新七八	七八	七八
大新七九	七九	七九
同新八〇	八〇	八〇
大新八一	八一	八一
同新八二	八二	八二
大新八三	八三	八三
同新八四	八四	八四
大新八五	八五	八五
同新八六	八六	八六
大新八七	八七	八七
同新八八	八八	八八
大新八九	八九	八九
同新九〇	九〇	九〇
大新九一	九一	九一
同新九二	九二	九二
大新九三	九三	九三
同新九四	九四	九四
大新九五	九五	九五
同新九六	九六	九六
大新九七	九七	九七
同新九八	九八	九八
大新九九	九九	九九
同新〇一	〇一	〇一
大新〇二	〇二	〇二
同新〇三	〇三	〇三
大新〇四	〇四	〇四
同新〇五	〇五	〇五
大新〇六	〇六	〇六
同新〇七	〇七	〇七
大新〇八	〇八	〇八
同新〇九	〇九	〇九
大新一〇	一〇	一〇
同新一一	一一	一一
大新一二	一二	一二
同新一三	一三	一三
大新一四	一四	一四
同新一五	一五	一五
大新一六	一六	一六
同新一七	一七	一七
大新一八	一八	一八
同新一九	一九	一九
大新二〇	二〇	二〇
同新二一	二一	二一
大新二二	二二	二二
同新二三	二三	二三
大新二四	二四	二四
同新二五	二五	二五
大新二六	二六	二六
同新二七	二七	二七
大新二八	二八	二八
同新二九	二九	二九
大新三〇	三〇	三〇
同新三一	三一	三一
大新三二	三二	三二
同新三三	三三	三三
大新三四	三四	三四
同新三五	三五	三五
大新三六	三六	三六
同新三七	三七	三七
大新三八	三八	三八
同新三九	三九	三九
大新四〇	四〇	四〇
同新四一	四一	四一
大新四二	四二	四二
同新四三	四三	四三
大新四四	四四	四四
同新四五	四五	四五
大新四六	四六	四六
同新四七	四七	四七
大新四八	四八	四八
同新四九	四九	四九
大新五〇	五〇	五〇
同新五一	五一	五一
大新五二	五二	五二
同新五三	五三	五三
大新五四	五四	五四
同新五五	五五	五五
大新五六	五六	五六
同新五七	五七	五七
大新五八	五八	五八
同新五九	五九	五九
大新六〇	六〇	六〇
同新六一	六一	六一
大新六二	六二	六二
同新六三	六三	六三
大新六四	六四	六四
同新六五	六五	六五
大新六六	六六	六六
同新六七	六七	六七
大新六八	六八	六八
同新六九	六九	六九
大新七〇	七〇	七〇
同新七一	七一	七一
大新七二	七二	七二
同新七三	七三	七三
大新七四	七四	七四
同新七五	七五	七五
大新七六	七六	七六
同新七七	七七	七七
大新七八	七八	七八
同新七九	七九	七九
大新八〇	八〇	八〇
同新八一	八一	八一
大新八二	八二	八二
同新八三	八三	八三
大新八四	八四	八四
同新八五	八五	八五
大新八六	八六	八六
同新八七	八七	八七
大新八八	八八	八八
同新八九	八九	八九
大新九〇	九〇	九〇
同新九一	九一	九一
大新九二	九二	九二
同新九三	九三	九三
大新九四	九四	九四
同新九五	九五	九五
大新九六	九六	九六
同新九七	九七	九七
大新九八	九八	九八
同新九九	九九	九九
大新〇一	〇一	〇一
同新〇二	〇二	〇二
大新〇三	〇三	〇三
同新〇四	〇四	〇四
大新〇五	〇五	〇五
同新〇六	〇六	〇六
大新〇七	〇七	〇七
同新〇八	〇八	〇八
大新〇九	〇九	〇九
同新一〇	一〇	一〇
大新一一	一一	一一
同新一二	一二	一二
大新一三	一三	一三
同新一四	一四	一四
大新一五	一五	一五
同新一六	一六	一六
大新一七	一七	一七
同新一八	一八	一八
大新一九	一九	一九
同新二〇	二〇	二〇
大新二一	二一	二一
同新二二	二二	二二
大新二三	二三	二三
同新二四	二四	二四
大新二五	二五	二五
同新二六	二六	二六
大新二七	二七	二七
同新二八	二八	二八
大新二九	二九	二九
同新三〇	三〇	三〇
大新三一	三一	三一
同新三二	三二	三二
大新三三	三三	三三
同新三四	三四	三四
大新三五	三五	三五
同新三六	三六	三六
大新三七	三七	三七
同新三八	三八	三八
大新三九	三九	三九
同新四〇	四〇	四〇
大新四一	四一	四一
同新四二	四二	四二
大新四三	四三	四三
同新四四	四四	四四
大新四五	四五	四五
同新四六	四六	四六
大新四七	四七	四七
同新四八	四八	四八
大新四九	四九	四九
同新五〇	五〇	五〇
大新五一	五一	五一
同新五二	五二	五二
大新五三	五三	五三
同新五四	五四	五四
大新五五	五五	五五
同新五六	五六	五六
大新五七	五七	五七
同新五八	五八	五八
大新五九	五九	五九
同新六〇	六〇	六〇
大新六一	六一	六一
同新六二	六二	六二
大新六三	六三	六三
同新六四	六四	六四
大新六五	六五	六五
同新六六	六六	六六
大新六七	六七	六七
同新六八	六八	六八
大新六九	六九	六九
同新七〇	七〇	七〇
大新七一	七一	七一
同新七二	七二	七二
大新七三	七三	七三
同新七四	七四	七四
大新七五	七五	七五
同新七六	七六	七六
大新七七	七七	七七
同新七八	七八	七八
大新七九	七九	七九
同新八〇	八〇	八〇
大新八一	八一	八一
同新八二	八二	八二
大新八三	八三	八三
同新八四	八四	八四
大新八五	八五	八五
同新八六	八六	八六
大新八七	八七	八七
同新八八	八八	八八
大新八九	八九	八九
同新九〇	九〇	九〇
大新九一	九一	九一
同新九二	九二	九二
大新九三	九三	九三
同新九四	九四	九四
大新九五	九五	九五
同新九六	九六	九六
大新九七	九七	九七
同新九八	九八	九八
大新九九	九九	九九
同新〇一	〇一	〇一
大新〇二	〇二	〇二
同新〇三	〇三	〇三
大新〇四	〇四	〇四
同新〇五	〇五	〇五
大新〇六	〇六	〇六
同新〇七	〇七	〇七
大新〇八	〇八	〇八
同新〇九	〇九	〇九
大新一〇	一〇	一〇
同新一一	一一	一一
大新一二	一二	一二
同新一三	一三	一三
大新一四	一四	一四
同新一五	一五	一五
大新一六	一六	一六
同新一七	一七	一七
大新一八	一八	一八
同新一九	一九	一九
大新二〇	二〇	二〇
同新二一	二一	二一
大新二二	二二	二二
同新二三	二三	二三
大新二四	二四	二四
同新二五	二五	二五
大新二六	二六	二六
同新二七	二七	二七
大新二八	二八	二八
同新二九	二九	二九
大新三〇	三〇	三〇
同新三一	三一	三一
大新三二	三二	三二
同新三三	三三	三三
大新三四	三四	三四
同新三五	三五	三五
大新三六	三六	三六
同新三七	三七	三七
大新三八	三八	三八
同新三九	三九	三九
大新四〇	四〇	四〇
同新四一	四一	四一
大新四二	四二	四二
同新四三	四三	四三
大新四四	四四	四四
同新四五	四五	四五
大新四六	四六	四六
同新四七	四七	四七
大新四八	四八	四八
同新四九	四九	四九
大新五〇	五〇	五〇
同新五一	五一	五一
大新五二	五二	五二
同新五三	五三	五三
大新五四	五四	五四
同新五五	五五	五五
大新五六	五六	五六
同新五七	五七	五七
大新五八	五八	五八
同新五九	五九	五九
大新六〇	六〇	六〇
同新六一	六一	六一
大新六二	六二	六二
同新六三	六三	六三
大新六四	六四	六四
同新六五	六五	六五
大新六六	六六	六六
同新六七	六七	六七
大新六八	六八	六八
同新六九	六九	六九
大新七〇	七〇	七〇
同新七一	七一	七一
大新七二	七二	七二
同新七三	七三	七三
大新七四	七四	七四
同新七五	七五	七五
大新七六	七六	七六
同新七七	七七	七七
大新七八	七八	七八
同新七九	七九	七九
大新八〇	八〇	八〇
同新八一	八一	八一
大新八二	八二	八二
同新八三	八三	八三
大新八四	八四	八四
同新八五	八五	八五
大新八六	八六	八六
同新八七	八七	八七
大新八八	八八	八八
同新八九	八九	八九
大新九〇	九〇	九〇
同新九一	九一	九一
大新九二	九二	九二
同新九三	九三	九三
大新九四	九四	九四
同新九五	九五	九五
大新九六	九六	九六
同新九七	九七	九七
大新九八	九八	九八
同新九九	九九	九九
大新〇一	〇一	〇一
同新〇二	〇二	〇二
大新〇三	〇三	〇三
同新〇四	〇四	〇四
大新〇五	〇五	〇五
同新〇六	〇六	〇六
大新〇七	〇七	〇七
同新〇八	〇八	〇八
大新〇九	〇九	〇九
同新一〇	一〇	一〇
大新一一	一一	一一
同新一二	一二	一二
大新一三	一三	一三
同新一四	一四	一四
大新一五	一五	一五
同新一六	一六	一六
大新一七	一七	一七
同新一八	一八	一八
大新一九	一九	一九
同新二〇	二〇	二〇
大新二一	二一	二一
同新二二	二二	二二
大新二三	二三	二三
同新二四	二四	二四
大新二五	二五	二五
同新二六	二六	二六
大新二七	二七	二七
同新二八	二八	二八
大新二九	二九	二九
同新三〇	三〇	三〇
大新三一	三一	三一
同新三二	三二	三二
大新三三	三三	三三
同新三四	三四	三四
大新三五	三五	三五
同新三六	三六	三六
大新三七	三七	三七
同新三八	三八	三八
大新三九	三九	三九
同新四〇	四〇	四〇
大新四一	四一	四一
同新四二	四二	四二
大新四三	四三	四三
同新四四	四四	四四
大新四五	四五	四五
同新四六	四六	四六
大新四七	四七	四七
同新四八	四八	四八
大新四九	四九	四九
同新五〇	五〇	五〇
大新五一	五一	五一
同新五二	五二	五二
大新五三	五三	五三
同新五四	五四	五四
大新五五	五五	五五
同新五六	五六	五六
大新五七	五七	五七
同新五八	五八	五八
大新五九	五九	五九
同新六〇	六〇	六〇
大新六一	六一	六一
同新六二	六二	六二
大新六三	六三	六三
同新六四	六四	六四
大新六五	六五	六五
同新六六	六六	六六
大新六七	六七	六七
同新六八	六八	六八
大新六九	六九	六九
同新七〇	七〇	七〇

激流

(112)

久生十蘭 作

伊勢良夫 畫

愛着 (二)

夥子は、やり切れないという風に、細く刻り込んだ眉の間へグイと皺襞を寄せて、

「なんだか、ひどく淋しそうねえ。そんな風に出るやうぢや、ご流産は、もうきまつたやうなものだわ、だわ」

四きつけるやうにさう言つておいて、屈け打ちといつたくあひにくじゃないけれ、あんたのやうな抵大な観察ちや、もともと自慢店なんか切り廻してゆけるはずはなかつたんだ。堅すると、院長不足のせゐさ。常談の無組なんだ。敗戦迄からやさ。あんな出鱈目なやり方をして、今迄どうにか続けたのがむしろ不思議なくらゐのもんだよ。じたばたしないでもう諦めをしなさい。……人間といふものはね、頁けた時は潔く頭を垂れて淋り出すユーモアを解さなくちやいけないだ。せめて、最後のドタンぢで自分を統御することを覚えなさい。やめろ、やめろ、百合店なんか！この淋戸際にたつてもまだしがみついてる醜さつたらないぞ。どうせ、もうどこにもあらないんだから、放り出すべきものへ放り出せば、天分発揮さ。価値なモダモダをしたいですんだ、もう思ひ切れよ」

ジロリと流目にかけて、

「お前さんはもう厳禁だから、愛気がつきて放つたらかしておいやらうと思つた。こんなお治療やりたい病院のお世話をしたのだから、事務所の連絡係だと思つたら、いつまで安かつたくらゐのもんだ。……やめろよ」

言ひわけがましく言つてから、じゃんでも、おや、と驚くほどの人懐こい口調になつて、

「……こんなことを言ひ出したつて、うぬぼれてゐると思ふなよ。……厳禁ひとに正気を揺へ押し潰められてしまつたけど、それだつてやりたい院長のお世話をしたのだから、事務所の連絡係だと思つたら、いつまで安かつたくらゐのもんだ。……やめろよ」

言ひわけがましく言つてから、じゃんでも、おや、と驚くほどの人懐こい口調になつて、

「……こんなことを言ひ出したつて、うぬぼれてゐると思ふなよ。……厳禁ひとに正気を揺へ押し潰められてしまつたけど、それだつて

がましいこと抜言するつもりはなかつたんだが、これでも、何だかんだと言ひ合つた仲だから、血脈のつもりで言つてあげるのさ、友達甲斐だと思ひなさい」

笑つて流したやうに見せかけて、そのくせ、深いところではやはり眤び立てをしてくれる親子のみやな気持が、ちかにこちらの胸に伸はつて顫して、胸先にグイと熱いものが突つかけてきた。

突撃ひで強解化そうとしたが、湿つぽい水ッ洟すになるのを防げなかつた。

「……二週も三週も行かなくなつてるることは、あんたよりあたしの方がよく知つてゐるさ。ふんぎり悪くしがみついてゐるやうに見えるかも知れないけど、真底ではいづれは片づけることに心を決めてゐるんだ、胸算に振金のシートを取つて見れや、たかだか二千万円ぐらゐのメリなんだから、驚くほどのことちやないの。さんざもういちど鼻を吹かんさせようと思つたら、やつて申はないことはないんだが、実は、ちよつとしたわけがあつて、ひどく神世がぐくなつてしまつて、そんな気持はまるつきりなくなつてしまつたの。あたしがこの医をたたけ出す気になつたのは、つまり、心境の変化といふわけなのさ」

「へえ、へえ」

「お説、きいてくれるかい？」

「ひとく改まつて、一体何事です か？」

「きいてくれるかい？」

「きいてやる」

「……お説、あたし、馬をとじるの」

「……」

「おや、笑はないのかい。堪き出したついでいいんだぜ」

「くとい、智慧は……馬をとじるといふのが何がおかしいんだあたしは笑はないよ。おかしくも何ともねえや」

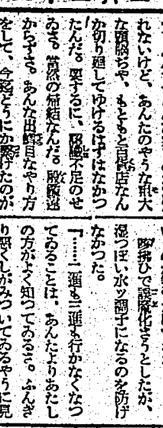
クス、と眼頭へきた涙を指の先で抑へて、

「お説、あたしの手を握つて」

「よし、握つてやる、かうか」

もういちど鼻を吹かんさせようと思つたら、やつて申はないことはないんだが、実は、ちよつとしたわけがあつて、ひどく神世がぐくなつてしまつて、そんな気持はまるつきりなくなつてしまつたの。あたしがこの医をたたけ出す気になつたのは、つまり、心境の変化といふわけなのさ」

「へえ、へえ」



ラヂオ

愛宕演次武信

【一・〇〇】ラヂオ体操

【一・一〇】ニュース

【一・二〇】国民歌謡

【一・三〇】歌謡曲

【四・〇〇】歌舞の時間（実況）小公会後の国史教授に就て（二）山本唯一

【五・三〇】ニュース

【五・五〇】コドモのニュース（実況）北海道小樽放送局発）岡崎修子

【六・〇〇】子供の時間（東京）なぜく倶楽部―子供のアキスト三八一解答・質問―博士获嶋、解説西方面吉

【六・二〇】子供の時間（東京）

【六・三五】講演（実況）「満蒙に於ける石炭液化問題の意義」十塚博士同獅長の話

【六・四五】時民歌謡（録音）昇りむ天哉（守田千冬作詞・宮田勝朗作曲）指導―三浦みや子、合唱―青葉少年合唱団、ピアノ伴奏―湯野雅雄

【六・五五】カレント・トピックス

【七・〇〇】吹奏楽（実況）（ユニ）行進曲「土国と艦」（ト）ラム（ペット独奏―伊太利民謡作曲）二（ガンス作曲）三（器楽民謡―鄭士の業績について（録北音楽倶楽部出演）

【七・三〇】ニュース

【七・三五】国民歌謡（演奏）紀元二千六百年奉祝国民歌謡「海ゆかば」（大伴家持作詞・伊波南哲作曲）合唱―アイラ・コール、組曲「アルガン伴奏―伊波南哲

【七・四〇】新譜紹介（東京）ワカナのお笑ひ（高田保作）ミス・ワカナ、三枝二郎

【八・〇〇】地方（東京大阪）大阪の役割から…吉川修子外、大阪音楽学校生徒

【八・四〇】時局講演（東京）戦時下の経済と都市の立場（仮題）帝国農会幹事東畑精一

【九・〇〇】ニュース

【九・一〇】時局講演（東京）「お前さんはもう厳禁だから、愛気がつきて放つたらかしておいやらうと思つた。こんなお治療

【九・四〇】天気予報（東京）

【九・四五】夫婦生活の知識（実況）伊藤一郎

【一〇・〇〇】報国農場（東京）

【一〇・一〇】家庭法律講座（実況）（北）

親族の法律

高等法院検事部長 草薙晋

◇扶養義務の本質

社会生活関係の中で其の如き自然的必然的の生活関係の存在に加へて法律等の知る社会的、経済的原因に基く扶養の義務を生ずるが、現在之に関して（一）国家が其の可能の範囲に於て自ら公法上の扶養を為すことの外に（二）国家が公法上の扶養義務者の範囲に関する扶養を命ずることの外に（三）近親者をして扶養に当らしめる民法上の親族的扶養の三方法があるが此の内（一）の特殊の企業資任に関しては一般的には生活不能者は先づ（三）に依り近親者間に於て扶助的に扶養せらるべく、その不能な場合に限り（二）の如く国家の現代扶養問題の機構である。而して扶養すべきは（三）の親族法上の扶養には（一）と生活扶助義務との二の性質の異なる扶養義務があるために法律の規定に於て（一）は親族的扶養の範囲に属するが（二）は自己の生活と同程度の相手方の全部的生活保持たるを要するが（三）は自己の身分相応の生活程度を相手方の生活必需度に置くを以て足る我が民法が親族扶助と同義務を義務の範囲に属するが（二

（第三種郵便物認可）　昭和十五年二月二十二日（木曜日）　臺灣日日新報　第一万四千三百四十七號　A（五）

學齡兒童は全部收容
屏東市の義教對策成る

【屏東電話】本島初等教育の普及充實として昭和十八年度より實施される義務教育を前にしてその對策が初例、來る十五、六、七年の三年の前期間第一年目の十五年度に於て屏東市では新年度實施豫定に即應して之が對策を樹立すべく目下市内學齡兒童の調査を進めつゝあるが、學齡兒童數は男女合計千五百四十九名あり、此の學齡兒童は來年度に於て全部收容し又來年度入學適齡兒童をも收容することとし右により昭和十五年度に於ける兒童の收容率は一躍七四・六二%に向上、最後十六、七兩年度に於ても可及的に收容率を增加せしめ更に十八年の義務教育施行期間を待つて全部收容をなすことゝし、取あへず此の三年間の義務教育施行期間に於ては昭和十八年の實施期に於ては實施豫定の方針を變更して全部收容をなし得る設計である。一方學齡兒童收容の爲には來年度新に二公學校を新設、その他屋内體操場を增築する外、現在の學校に於ても教室の增築を行ひ又教員の增員を行ふ豫定で其の數は昨年末に内定

嘉義神社改築
設計一部を模樣換へし
認可次第直ちに着工

【嘉義電話】嘉義神社は昭和十四年度に於て總額二千万圓を以て改築擴張することに決定したるも其の後一部設計の變更と資材の騰貴に依り更に約十万圓を追加せねばならぬ情勢となつたので當局では再度州の承認を經て新設計を了し目下總督府に申請中であるが總督府に於ては本島の神社の權威を保つ爲め從來の設計を變更することは絶對に認可せざる方針で其の數日中に正式内示ある

議員手當は慰問金
原案可決 高雄市會閉會

【高雄電話】高雄市會は二十日の臨時一日會を以て閉會、懸案の市會議員の報酬問題は原案通り可決、一月分より實施することゝなつた

一讀會を終る
第二日目つゞき

【高雄電話】高雄市會は二十日の臨時一日會を以て閉會、懸案の市會議員の報酬問題は原案通り可決、一月分より實施することゝなつた

嘉義市種痘日割

【嘉義電話】嘉義市の定期種痘は左記日割に依り執行される
▲三月六日　南門、北門、築町會
▲三月七日　南門、西門、元町會
▲三月八日　北門、北社、鹽埕、元町會
▲三月九日　玉川、宮前町、北社、鹽埕、元町會

郡勢は躍進
嘉義郡街庄豫算膨脹

【嘉義電話】嘉義郡各街庄協議會は十九日中埔、竹崎兩庄を除き其の他は各庄に於て何れも協議會を開き、昭和十五年度豫算を決定したが、其の内容は左の如し

	昭和十四年度	昭和十五年度	增減
嘉義街	二十六萬四千八百圓	二十七萬九千四百圓	一萬四千六百圓
番子寮庄	四萬七千九百圓	四萬九千圓	一千一百圓
大林庄	十二万三千九百圓	十二万六千圓	二千一百圓
民雄庄	十万七千圓	十一万二千圓	四千圓
溪口庄	四万九千圓	五万一千圓	二千圓
中埔庄	十万二千圓	十万四千圓	二千圓
竹崎庄	八万七千圓	九万一千圓	四千圓
梅山庄	十万二千圓	十万五千圓	三千圓
六脚庄	十万三千圓	十万六千圓	三千圓
水上庄	二万八千圓	二万九千圓	一千圓
布袋嘴庄	二万六百圓	二万一千圓	一千圓
鹿草庄	二万二千圓	二万三千圓	一千圓
竹崎庄	八万七千四百十一圓	九万一千四百十一圓	四千圓
小梅庄	七万七千九百十一圓	八万一千圓	三千圓
太平庄	二万六百十二圓	二万一千圓	一千圓
民雄庄	二万三千九百二十八圓	二万五千圓	一千圓

高橋司令官
馬公發出北

【馬公電話】台北に於て死亡された兵隊慰靈祭に參列の爲め臨時馬公兵隊司令官代理として總督府の高橋馬公防備隊司令官は二十一日午前九時馬公發の汽船にて出發北上した

稅制記念日行事
高雄州で各方面へ通達

【高雄電話】高雄州に於ける第二回稅制記念日行事は二月一日の本島稅制記念日實施要項に基き左の如く決定した
▲納稅組織の調査△取引の改善△國庫金收納事務の改善△國庫金收納事務の改善△國庫金收納事務

乙女の旅より
子供の國へ
（三）

謝冰心作
倉石武四郎譯

懐しいみなさまへ——

昨日の午後のことです。家から一歩踏み出しますと、私は何だか夢の國へでも行つたやうな具合で車が町の角をまがるとき、ふりかへつてじいつと見つめました——あの見の窓からみつめて見える親貨の甘藷、その下に住む懐しい人々、その人々にまたお會ひする日が來なければ、この夢は「儚めずの夢」になつてしまふのではないでせうか。

私を送つてくれる人は、みんな子供です——家から同じ車に乘つてきたのも子供です、車の前にゐたのも子供です。私はやる瀬ないわびしさの中にも、わが身の光榮をしみじみと感じました。淋しさは何と幸福なんでせう、醜貧無垢な子供たちに愛してもらひ、こんなにしんみりした、しかもかがやひのない經驗をして頂きませうとは。

車はまだ發車しない中のことです。私の弟の澤が、いよ〳〵お別れといふ際になつて、急に悲しさがこみあげて、何度も〳〵涙を拭ふのです。目には涙をいつぱつて「兄さん、もう帰らうと思つてゐます。目には涙をこらへて、強くの方にたたずんでゐます。側へ呼びよせて、頭を撫でてやりましたが、その手も力が抜けて、ふと放した間に、二人の間が離れてしまひました——私たちは幾回「言ふ勿れ言はないでしまひました。

汽車はやがて駅を離れました。片側は城壁、片側は柳、みんな私の目の前を飛んでゆきます。どんなに早くても私の心が、カラリと開れてゐました。持つてきた「中國文學史」を取りだして、つい讀む氣になつて、急に悲しさがこみあげて、何度も〳〵涙を拭ふのです。目には涙をいつぱつて「兄さん、もう帰らうと思つてゐます。目には涙をこらへて、強くの方にたたずんでゐます。側へ呼びよせて、頭を撫でてやりましたが、その手も力が抜けて、ふと放した間に、二人の間が離れてしまひました——私たちは幾回「言ふ勿れ言はないでしまひました。

汽車はやがて駅を離れました。片側は城壁、片側は柳、みんな私の目の前を飛んでゆきます。どんなに早くても私の心が、カラリと開れてゐました。持つてきた「中國文學史」を取りだして、つい讀む氣になつて、急に悲しさがこみあげて、何度も〳〵涙を拭ふのです。月と私とは一歩一歩遠ざかつてゐるのです。今朝早く汽車を通過しました。

私は五時に起きて、窓にひかりて書き始めました。窓の外を景色は次第に變つてゆきました。窓をあけると、片側は月が靄に霞んで、はてしない畑の遠野を照らしてゐます。——車は窓の様な速さで走つてゐます。車輪が廻るたびに、限りしられぬ行くてへと夢を運んでゆくのです。月と私とは一歩一歩

燃料局も大乗氣な
湯たんぽボイラー
少壯技師が三年の苦心
五割も節約出來る發明

石炭不足は
消解でれこ

【東京廿一日發本社特電】一日發本社特電】一技師が管下の工場を總動員し假行てゐるうち ボイラーに突かわる點しい石炭に注目、なんとか少い石炭で必要分の十分な形式はないものかと三年間に亘つて研究した結果ドイツなどでは既に十五年前から採用してゐる方法

三蒸氣三の代りに極度に壓縮した湯(水)を通す形式が最も經濟的であることを發見、之に基き新システム機を完成し約一年半前に管下の三工場に實施して見たところ數百噸の石炭を節約したのみで更に石炭を五割乃至六割分節約してゐる從前通りの設備から

三次官三もその圖嫁ボイラーに就き調査研究させることになつた、この新システム・ボイラーの元祖者は神奈川縣警務課技師杉山二好氏で京大工學部を昭和六年卒業、三千五百の若い秀才、この原理は湯たんぽ一つは蒸氣たんぽ二百五十個に相當するといふ譯と蒸氣とが同じ容積で含み得る熱量の差を應用したものの既存その他の缶體でも僅かの改造で容易に實施出來るので石炭不足の折柄各地方長官を新圖に派遣して研究させるやうにしたいと

三無駄三がなく約半分の石炭で足りると云ふのだ、利益は

流石は海國日本
當事者の杞憂を一蹴
海員志願は殺到する

【東京二十一日發同盟】第一次歐洲戰亂と海運界の飛躍的發展とを見つつあるが、これに伴つて多數の海員を急速に養成することが急務とされてをり、海運局同盟では全國各部を網羅して今年度に船員八千名の募集を開始したが、而して最近船員志願者への人員激増の傾向を見せてゐるので船員、相當困難なのではなからうかと當局は一層の同盟丸募集開始以來、殺到する志願者數は一層どの國民により海員志願者は一層であつたが流石は海國日本、この

征く日から
生還を期せず
戰死した千葉少尉

【佐倉電話】佛門より感激へ奉國烈々たる"大和魂"の精華を發揮少尉十三の出身、千葉縣佐倉町一

競馬フアン喜べ
本島でも補償制度を設ける

本島競馬の管理者臺灣競馬會社（會長安藤）は從來の如く當つて砕けるといふことがなくなる點でこの點歡迎されてゐる

春競馬の日程
變更となる

本島に於ける本年春競馬のトップを切る臺灣競馬は來る二十四、五の二日間に亘り開催の豫定であつたが都合により二十二、十三の兩日に變更され二十四、五の兩日は從來通り開催される

出雲の上海占領之圖の扁額

國民精神作興委員會では先に百濟王族の上海占領之圖に小林寶が"皇威治八紘"と揮毫したのを額裝するに至り既に出來上つたので來る二十四日午前十時より同會事務所で除幕式を擧行その他當日の參列者の名前入の大扁額として奉納する筈である

東洋美術國際
研究會發會式

【東京二十一日發同盟】東洋美術の世界的向上と日本文化の發揚を目的として生れた東洋美術國際研究會の發會式が二十日午後學士會館で擧行された、會長細川護立侯、理事長龍山宗像伯以下各理事、グルー米大使、オットー獨大使、アウリッチ伊大使、ロイター外交團、川合玉堂、荒木貞夫、松林眞七郎諸伯爵名士參百名參列、會長細川侯の挨拶に續いて一同參內に參殿中の榮式部官長より勅語の發表があつて一同謹んで拜聽その他の各國賓客の祝辭があつたが午後一時より祝賀會を開催した

心根を強く持て
教護聯盟で生徒を說く

【東京二十一日發本社特電】七十五萬圓の最大豫算を計上した內務省社會局の教護聯盟は二十一日午前十時から東京市內の三千餘の校長を集めて開會、午後一時半から內務省講堂で定期總會を開催し、昭和十五年度事業並決算報告、昭和十六年度事業

行く船毎に受驗生
昨年よりは約倍數の人

內地の各學校への就職熱に深入して行く臺灣學生部の就職は今年は昨年よりも餘る筈が多く、當局に望してゐると云はれ、若人の向學心もさる事ながら、ここに時代の動きが如何に映じてゐるかが窺ふ、國家の要求する人的資源の一人たらんと"ぢもたらずんば死すとも悔なき"の意氣に燃ゆるストーブの點が臺灣と一生涯忘れ難き絆を結んで來た老政治家の郷に歸つたのと

下駄履きの學童隊
近頃滅切り增えました

物資愛護の國策に副ふ爲各地方內小公學校兒童は今迄持つてゐた皮革製靴を出來るだけ校內に使用するのだと言ひ通學の際には皆に遠つて下駄履きするものが近頃めつきり增へ殊に寒さの加はる折柄一ばいでなくなるが、中等學校にても生徒に學年の區別なく皆下駄を履くべくズック製靴を使用せしめて

進めて生徒に對し國民精神總動員の一點張りでやつて來たが相當範圍に亙るので臺北生徒中には靴製を餘儀なくされてゐるものもあるので此の際一段と校內服裝の組織の强化を圖つてその徹底を期せんとするものである、また學校長會議席上で服裝については生徒らしい質素な態度で人目を驚かすが如きことなきやう指導するとの申合せはあつたが成文のものでなく却つてその後私立學校の運動服裝が盛んとなりあらゆる服裝にも參加して來つたが最近の服裝は殆ど洋風化飛ぶ裏面目なものと化してゐるに鑑み國民精神總動員實施事項の一として學校、下校に下駄履を許したのでここにも生徒指導者間に下駄が絶叫り增えたやうである

眠る金鑛浮び上る
頭人埔の一躍百萬圓の折紙
溪谷約百坪

【東京廿一日發本社特電】東亞のタッキリ後の話題が來た！驚めず極二千年前土佐の一青年が發掘したと傳へられる金鑛が臺北州頭人埔の溪谷約百坪に亙つて發見されたといふニュース、當初市の人昌出直氏が好運の話題の主、氏は今から二十年前臺北州頭人埔の溪谷約百坪に亙つてキラキラと光るものを發見したが、一笑に附されたまま十年餘を經過、

定期航空

會葬御禮

榮十

三章印カホン紙

苗栗郡三叉に
育成牧場
廣さ八百五十甲

【新竹電話】新竹州當局では馬產計畫には特に意を注ぎ昭和十一年竹南郡に種馬牧場を設け良種優秀馬の生產奬勵に努力し來つたが、更來本島各地とも益々馬產奬勵に乘出して居る現狀に鑑み州當局では今回新に苗栗郡三叉庄に八百五十甲步に及ぶ種馬牧場を新設し差當り十五年度には當縣馬二十三頭、二歲馬十一頭、從馬五頭計三十九頭を育成する豫定で、本牧場に收容すべき育成馬は州下產馬組合にて育成の上當分の間同牧場に預託飼養することとなつた、

けふから臺南市會

豫算總額は百七十一萬六千餘圓

【臺南電話】昭和十五年度臺南市會は廿一日午前十時より市會議事堂に於て開會、市會議員定數三十二名中現在員三十二名出席、市會より提出の昭和十五年度臺南市歲入出豫算案外數件に付審議に入り市長より提案理由說明があつた、其の內容は次の如し（人は千圓）

歲入總額
第一款 財產收入 一、八四五
第二款 使用料及手數料 六、一四四
第三款 營業收入 一二、一六六
第四款 交付金 三、一六六
第五款 雜收入 三、一六六
第六款 市 稅 一、一七二、三四〇
計 一、二〇五、三四〇

歲入歲出增減
第一款 國庫補助金 增加 九、六三二
第二款 州補助金 增加 九、六三二
第三款 受益負擔金 增加 一、六三五
第四款 土地區劃整理費收入 減少 一、六三五
第五款 寄附金 減少 一、六三五

歲出總額
第一款 議會費 一、六三六
第二款 役所費 一二、三六六
第三款 小公學校費 五二、三五五
第四款 實業補習學校費 一〇、八六六
第五款 青年訓練所費 一〇、八六六
第六款 國語講習所費 一、一五〇
第七款 圖書館費 九、三三三
第八款 水道費 二、〇一四
第九款 公園費 五、三〇五
第十款 墓地費 九、三三三
第十一款 運動場費 四、一五五
第十二款 公會堂費 一、六三六
第十三款 市場費 一、六三六
第十四款 屠獸場費 一、六三六
第十五款 火葬場費 一、六三六
第十六款 市營住宅費 一、六三六
第十七款 防空費 一、六三六
第十八款 救護費 一、六三六
第十九款 清掃費 一、六三六
第二十款 塵芥處理費 一、六三六
第二十一款 傳染病預防費 一、六三六
第二十二款 汚物掃除費 一、六三六
第二十三款 下水道費 一、六三六
第二十四款 緊急費 一、六三六
第二十五款 公債費 一、六三六
第二十六款 地方改良費 一、六三六
第二十七款 諸稅費 一、六三六
第二十八款 防空費 一、六三六
第二十九款 繳費費 一、六三六
第三十款 排水防疫費 一、六三六
第三十一款 勤業諮詢費 一、六三六
第三十二款 傳染病預防費 一、六三六
第三十三款 防空費 一、六三六
第三十四款 下水道費 一、六三六
第三十五款 緊急費 一、六三六
第三十六款 水道費 一、六三六
第三十七款 公債費 一、六三六
第三十八款 地方改良費 一、六三六
第三十九款 諸稅費 一、六三六
第四十款 防空費 一、六三六
第四十一款 繳費費 一、六三六
第四十二款 排水防疫費 一、六三六
第四十三款 勤業諮詢費 一、六三六
第四十四款 傳染病預防費 一、六三六
第四十五款 汚物掃除費 一、六三六
第四十六款 下水道費 一、六三六
第四十七款 緊急費 一、六三六
第四十八款 水道費 一、六三六
第四十九款 公債費 一、六三六
第五十款 地方改良費 一、六三六
第五十一款 諸稅費 一、六三六
第五十二款 防空費 一、六三六
第五十三款 繳費費 一、六三六
第五十四款 排水防疫費 一、六三六
第五十五款 勤業諮詢費 一、六三六
第五十六款 傳染病預防費 一、六三六
第五十七款 汚物掃除費 一、六三六
第五十八款 下水道費 一、六三六
第五十九款 緊急費 一、六三六
第六十款 水道費 一、六三六
第六十一款 公債費 一、六三六
第六十二款 地方改良費 一、六三六
第六十三款 諸稅費 一、六三六
第六十四款 防空費 一、六三六
第六十五款 繳費費 一、六三六
第六十六款 排水防疫費 一、六三六
第六十七款 勤業諮詢費 一、六三六
第六十八款 傳染病預防費 一、六三六
第六十九款 汚物掃除費 一、六三六
第七十款 下水道費 一、六三六
第七十一款 緊急費 一、六三六
第七十二款 水道費 一、六三六
第七十三款 公債費 一、六三六
第七十四款 地方改良費 一、六三六
第七十五款 諸稅費 一、六三六
第七十六款 防空費 一、六三六
第七十七款 繳費費 一、六三六
第七十八款 排水防疫費 一、六三六
第七十九款 勤業諮詢費 一、六三六
第八十款 傳染病預防費 一、六三六
第八十一款 汚物掃除費 一、六三六
第八十二款 下水道費 一、六三六
第八十三款 緊急費 一、六三六
第八十四款 水道費 一、六三六
第八十五款 公債費 一、六三六
第八十六款 地方改良費 一、六三六
第八十七款 諸稅費 一、六三六
第八十八款 防空費 一、六三六
第八十九款 繳費費 一、六三六
第九十款 排水防疫費 一、六三六
第九十一款 勤業諮詢費 一、六三六
第九十二款 傳染病預防費 一、六三六
第九十三款 汚物掃除費 一、六三六
第九十四款 下水道費 一、六三六
第九十五款 緊急費 一、六三六
第九十六款 水道費 一、六三六
第九十七款 公債費 一、六三六
第九十八款 地方改良費 一、六三六
第九十九款 諸稅費 一、六三六
第一百款 防空費 一、六三六
第一百一款 繳費費 一、六三六
第一百二款 排水防疫費 一、六三六
第一百三款 勤業諮詢費 一、六三六
第一百四款 傳染病預防費 一、六三六
第一百五款 汚物掃除費 一、六三六
第一百六款 下水道費 一、六三六
第一百七款 緊急費 一、六三六
第一百八款 水道費 一、六三六
第一百九款 公債費 一、六三六
第一百十款 地方改良費 一、六三六
第一百十一款 諸稅費 一、六三六
第一百十二款 防空費 一、六三六
第一百十三款 繳費費 一、六三六
第一百十四款 排水防疫費 一、六三六
第一百十五款 勤業諮詢費 一、六三六
第一百十六款 傳染病預防費 一、六三六
第一百十七款 汚物掃除費 一、六三六
第一百十八款 下水道費 一、六三六
第一百十九款 緊急費 一、六三六
第一百二十款 水道費 一、六三六
第一百二十一款 公債費 一、六三六
第一百二十二款 地方改良費 一、六三六
第一百二十三款 諸稅費 一、六三六
第一百二十四款 防空費 一、六三六
第一百二十五款 繳費費 一、六三六
第一百二十六款 排水防疫費 一、六三六
第一百二十七款 勤業諮詢費 一、六三六
第一百二十八款 傳染病預防費 一、六三六
第一百二十九款 汚物掃除費 一、六三六
第一百三十款 下水道費 一、六三六
第一百三十一款 緊急費 一、六三六
第一百三十二款 水道費 一、六三六
第一百三十三款 公債費 一、六三六
第一百三十四款 地方改良費 一、六三六
第一百三十五款 諸稅費 一、六三六
第一百三十六款 防空費 一、六三六
第一百三十七款 繳費費 一、六三六
第一百三十八款 排水防疫費 一、六三六
第一百三十九款 勤業諮詢費 一、六三六
第一百四十款 傳染病預防費 一、六三六
第一百四十一款 汚物掃除費 一、六三六
第一百四十二款 下水道費 一、六三六
第一百四十三款 緊急費 一、六三六
第一百四十四款 水道費 一、六三六
第一百四十五款 公債費 一、六三六
第一百四十六款 地方改良費 一、六三六
第一百四十七款 諸稅費 一、六三六
第一百四十八款 防空費 一、六三六
第一百四十九款 繳費費 一、六三六
第一百五十款 排水防疫費 一、六三六
第一百五十一款 勤業諮詢費 一、六三六
第一百五十二款 傳染病預防費 一、六三六
第一百五十三款 汚物掃除費 一、六三六
第一百五十四款 下水道費 一、六三六
第一百五十五款 緊急費 一、六三六
第一百五十六款 水道費 一、六三六
第一百五十七款 公債費 一、六三六
第一百五十八款 地方改良費 一、六三六
第一百五十九款 諸稅費 一、六三六
第一百六十款 防空費 一、六三六
第一百六十一款 繳費費 一、六三六
第一百六十二款 排水防疫費 一、六三六
第一百六十三款 勤業諮詢費 一、六三六
第一百六十四款 傳染病預防費 一、六三六
第一百六十五款 汚物掃除費 一、六三六
第一百六十六款 下水道費 一、六三六
第一百六十七款 緊急費 一、六三六
第一百六十八款 水道費 一、六三六
第一百六十九款 公債費 一、六三六
第一百七十款 地方改良費 一、六三六
第一百七十一款 諸稅費 一、六三六
第一百七十二款 防空費 一、六三六
第一百七十三款 繳費費 一、六三六
第一百七十四款 排水防疫費 一、六三六
第一百七十五款 勤業諮詢費 一、六三六
第一百七十六款 傳染病預防費 一、六三六
第一百七十七款 汚物掃除費 一、六三六
第一百七十八款 下水道費 一、六三六
第一百七十九款 緊急費 一、六三六
第一百八十款 水道費 一、六三六
第一百八十一款 公債費 一、六三六
第一百八十二款 地方改良費 一、六三六
第一百八十三款 諸稅費 一、六三六
第一百八十四款 防空費 一、六三六
第一百八十五款 繳費費 一、六三六
第一百八十六款 排水防疫費 一、六三六
第一百八十七款 勤業諮詢費 一、六三六
第一百八十八款 傳染病預防費 一、六三六
第一百八十九款 汚物掃除費 一、六三六
第一百九十款 下水道費 一、六三六
第一百九十一款 緊急費 一、六三六
第一百九十二款 水道費 一、六三六
第一百九十三款 公債費 一、六三六
第一百九十四款 地方改良費 一、六三六
第一百九十五款 諸稅費 一、六三六
第一百九十六款 防空費 一、六三六
第一百九十七款 繳費費 一、六三六
第一百九十八款 排水防疫費 一、六三六
第一百九十九款 勤業諮詢費 一、六三六
第二百款 傳染病預防費 一、六三六
第二百一款 汚物掃除費 一、六三六
第二百二款 下水道費 一、六三六
第二百三款 緊急費 一、六三六
第二百四款 水道費 一、六三六
第二百五款 公債費 一、六三六
第二百六款 地方改良費 一、六三六
第二百七款 諸稅費 一、六三六
第二百八款 防空費 一、六三六
第二百九款 繳費費 一、六三六
第二百十款 排水防疫費 一、六三六
第二百十一款 勤業諮詢費 一、六三六
第二百十二款 傳染病預防費 一、六三六
第二百十三款 汚物掃除費 一、六三六
第二百十四款 下水道費 一、六三六
第二百十五款 緊急費 一、六三六
第二百十六款 水道費 一、六三六
第二百十七款 公債費 一、六三六
第二百十八款 地方改良費 一、六三六
第二百十九款 諸稅費 一、六三六
第二百二十款 防空費 一、六三六
第二百二十一款 繳費費 一、六三六
第二百二十二款 排水防疫費 一、六三六
第二百二十三款 勤業諮詢費 一、六三六
第二百二十四款 傳染病預防費 一、六三六
第二百二十五款 汚物掃除費 一、六三六
第二百二十六款 下水道費 一、六三六
第二百二十七款 緊急費 一、六三六
第二百二十八款 水道費 一、六三六
第二百二十九款 公債費 一、六三六
第二百三十款 地方改良費 一、六三六
第二百三十一款 諸稅費 一、六三六
第二百三十二款 防空費 一、六三六
第二百三十三款 繳費費 一、六三六
第二百三十四款 排水防疫費 一、六三六
第二百三十五款 勤業諮詢費 一、六三六
第二百三十六款 傳染病預防費 一、六三六
第二百三十七款 汚物掃除費 一、六三六
第二百三十八款 下水道費 一、六三六
第二百三十九款 緊急費 一、六三六
第二百四十款 水道費 一、六三六
第二百四十一款 公債費 一、六三六
第二百四十二款 地方改良費 一、六三六
第二百四十三款 諸稅費 一、六三六
第二百四十四款 防空費 一、六三六
第二百四十五款 繳費費 一、六三六
第二百四十六款 排水防疫費 一、六三六
第二百四十七款 勤業諮詢費 一、六三六
第二百四十八款 傳染病預防費 一、六三六
第二百四十九款 汚物掃除費 一、六三六
第二百五十款 下水道費 一、六三六
第二百五十一款 緊急費 一、六三六
第二百五十二款 水道費 一、六三六
第二百五十三款 公債費 一、六三六
第二百五十四款 地方改良費 一、六三六
第二百五十五款 諸稅費 一、六三六
第二百五十六款 防空費 一、六三六
第二百五十七款 繳費費 一、六三六
第二百五十八款 排水防疫費 一、六三六
第二百五十九款 勤業諮詢費 一、六三六
第二百六十款 傳染病預防費 一、六三六
第二百六十一款 汚物掃除費 一、六三六
第二百六十二款 下水道費 一、六三六
第二百六十三款 緊急費 一、六三六
第二百六十四款 水道費 一、六三六
第二百六十五款 公債費 一、六三六
第二百六十六款 地方改良費 一、六三六
第二百六十七款 諸稅費 一、六三六
第二百六十八款 防空費 一、六三六
第二百六十九款 繳費費 一、六三六
第二百七十款 排水防疫費 一、六三六
第二百七十一款 勤業諮詢費 一、六三六
第二百七十二款 傳染病預防費 一、六三六
第二百七十三款 汚物掃除費 一、六三六
第二百七十四款 下水道費 一、六三六
第二百七十五款 緊急費 一、六三六
第二百七十六款 水道費 一、六三六
第二百七十七款 公債費 一、六三六
第二百七十八款 地方改良費 一、六三六
第二百七十九款 諸稅費 一、六三六
第二百八十款 防空費 一、六三六
第二百八十一款 繳費費 一、六三六
第二百八十二款 排水防疫費 一、六三六
第二百八十三款 勤業諮詢費 一、六三六
第二百八十四款 傳染病預防費 一、六三六
第二百八十五款 汚物掃除費 一、六三六
第二百八十六款 下水道費 一、六三六
第二百八十七款 緊急費 一、六三六
第二百八十八款 水道費 一、六三六
第二百八十九款 公債費 一、六三六
第二百九十款 地方改良費 一、六三六
第二百九十一款 諸稅費 一、六三六
第二百九十二款 防空費 一、六三六
第二百九十三款 繳費費 一、六三六
第二百九十四款 排水防疫費 一、六三六
第二百九十五款 勤業諮詢費 一、六三六
第二百九十六款 傳染病預防費 一、六三六
第二百九十七款 汚物掃除費 一、六三六
第二百九十八款 下水道費 一、六三六
第二百九十九款 緊急費 一、六三六
第三百款 水道費 一、六三六
第三百一款 公債費 一、六三六
第三百二款 地方改良費 一、六三六
第三百三款 諸稅費 一、六三六
第三百四款 防空費 一、六三六
第三百五款 繳費費 一、六三六
第三百六款 排水防疫費 一、六三六
第三百七款 勤業諮詢費 一、六三六
第三百八款 傳染病預防費 一、六三六
第三百九款 汚物掃除費 一、六三六
第三百十款 下水道費 一、六三六
第三百十一款 緊急費 一、六三六
第三百十二款 水道費 一、六三六
第三百十三款 公債費 一、六三六
第三百十四款 地方改良費 一、六三六
第三百十五款 諸稅費 一、六三六
第三百十六款 防空費 一、六三六
第三百十七款 繳費費 一、六三六
第三百十八款 排水防疫費 一、六三六
第三百十九款 勤業諮詢費 一、六三六
第三百二十款 傳染病預防費 一、六三六
第三百二十一款 汚物掃除費 一、六三六
第三百二十二款 下水道費 一、六三六
第三百二十三款 緊急費 一、六三六
第三百二十四款 水道費 一、六三六
第三百二十五款 公債費 一、六三六
第三百二十六款 地方改良費 一、六三六
第三百二十七款 諸稅費 一、六三六
第三百二十八款 防空費 一、六三六
第三百二十九款 繳費費 一、六三六
第三百三十款 排水防疫費 一、六三六
第三百三十一款 勤業諮詢費 一、六三六
第三百三十二款 傳染病預防費 一、六三六
第三百三十三款 汚物掃除費 一、六三六
第三百三十四款 下水道費 一、六三六
第三百三十五款 緊急費 一、六三六
第三百三十六款 水道費 一、六三六
第三百三十七款 公債費 一、六三六
第三百三十八款 地方改良費 一、六三六
第三百三十九款 諸稅費 一、六三六
第三百四十款 防空費 一、六三六
第三百四十一款 繳費費 一、六三六
第三百四十二款 排水防疫費 一、六三六
第三百四十三款 勤業諮詢費 一、六三六
第三百四十四款 傳染病預防費 一、六三六
第三百四十五款 汚物掃除費 一、六三六
第三百四十六款 下水道費 一、六三六
第三百四十七款 緊急費 一、六三六
第三百四十八款 水道費 一、六三六
第三百四十九款 公債費 一、六三六
第三百五十款 地方改良費 一、六三六
第三百五十一款 諸稅費 一、六三六
第三百五十二款 防空費 一、六三六
第三百五十三款 繳費費 一、六三六
第三百五十四款 排水防疫費 一、六三六
第三百五十五款 勤業諮詢費 一、六三六
第三百五十六款 傳染病預防費 一、六三六
第三百五十七款 汚物掃除費 一、六三六
第三百五十八款 下水道費 一、六三六
第三百五十九款 緊急費 一、六三六
第三百六十款 水道費 一、六三六
第三百六十一款 公債費 一、六三六
第三百六十二款 地方改良費 一、六三六
第三百六十三款 諸稅費 一、六三六
第三百六十四款 防空費 一、六三六
第三百六十五款 繳費費 一、六三六
第三百六十六款 排水防疫費 一、六三六
第三百六十七款 勤業諮詢費 一、六三六
第三百六十八款 傳染病預防費 一、六三六
第三百六十九款 汚物掃除費 一、六三六
第三百七十款 下水道費 一、六三六
第三百七十一款 緊急費 一、六三六
第三百七十二款 水道費 一、六三六
第三百七十三款 公債費 一、六三六
第三百七十四款 地方改良費 一、六三六
第三百七十五款 諸稅費 一、六三六
第三百七十六款 防空費 一、六三六
第三百七十七款 繳費費 一、六三六
第三百七十八款 排水防疫費 一、六三六
第三百七十九款 勤業諮詢費 一、六三六
第三百八十款 傳染病預防費 一、六三六
第三百八十一款 汚物掃除費 一、六三六
第三百八十二款 下水道費 一、六三六
第三百八十三款 緊急費 一、六三六
第三百八十四款 水道費 一、六三六
第三百八十五款 公債費 一、六三六
第三百八十六款 地方改良費 一、六三六
第三百八十七款 諸稅費 一、六三六
第三百八十八款 防空費 一、六三六
第三百八十九款 繳費費 一、六三六
第三百九十款 排水防疫費 一、六三六
第三百九十一款 勤業諮詢費 一、六三六
第三百九十二款 傳染病預防費 一、六三六
第三百九十三款 汚物掃除費 一、六三六
第三百九十四款 下水道費 一、六三六
第三百九十五款 緊急費 一、六三六
第三百九十六款 水道費 一、六三六
第三百九十七款 公債費 一、六三六
第三百九十八款 地方改良費 一、六三六
第三百九十九款 諸稅費 一、六三六
第四百款 防空費 一、六三六
第四百一款 繳費費 一、六三六
第四百二款 排水防疫費 一、六三六
第四百三款 勤業諮詢費 一、六三六
第四百四款 傳染病預防費 一、六三六
第四百五款 汚物掃除費 一、六三六
第四百六款 下水道費 一、六三六
第四百七款 緊急費 一、六三六
第四百八款 水道費 一、六三六
第四百九款 公債費 一、六三六
第四百十款 地方改良費 一、六三六
第四百十一款 諸稅費 一、六三六
第四百十二款 防空費 一、六三六
第四百十三款 繳費費 一、六三六
第四百十四款 排水防疫費 一、六三六
第四百十五款 勤業諮詢費 一、六三六
第四百十六款 傳染病預防費 一、六三六
第四百十七款 汚物掃除費 一、六三六
第四百十八款 下水道費 一、六三六
第四百十九款 緊急費 一、六三六
第四百二十款 水道費 一、六三六
第四百二十一款 公債費 一、六三六
第四百二十二款 地方改良費 一、六三六
第四百二十三款 諸稅費 一、六三六
第四百二十四款 防空費 一、六三六
第四百二十五款 繳費費 一、六三六
第四百二十六款 排水防疫費 一、六三六
第四百二十七款 勤業諮詢費 一、六三六
第四百二十八款 傳染病預防費 一、六三六
第四百二十九款 汚物掃除費 一、六三六
第四百三十款 下水道費 一、六三六
第四百三十一款 緊急費 一、六三六
第四百三十二款 水道費 一、六三六
第四百三十三款 公債費 一、六三六
第四百三十四款 地方改良費 一、六三六
第四百三十五款 諸稅費 一、六三六
第四百三十六款 防空費 一、六三六
第四百三十七款 繳費費 一、六三六
第四百三十八款 排水防疫費 一、六三六
第四百三十九款 勤業諮詢費 一、六三六
第四百四十款 傳染病預防費 一、六三六
第四百四十一款 汚物掃除費 一、六三六
第四百四十二款 下水道費 一、六三六
第四百四十三款 緊急費 一、六三六
第四百四十四款 水道費 一、六三六
第四百四十五款 公債費 一、六三六
第四百四十六款 地方改良費 一、六三六
第四百四十七款 諸稅費 一、六三六
第四百四十八款 防空費 一、六三六
第四百四十九款 繳費費 一、六三六
第四百五十款 排水防疫費 一、六三六
第四百五十一款 勤業諮詢費 一、六三六
第四百五十二款 傳染病預防費 一、六三六
第四百五十三款 汚物掃除費 一、六三六
第四百五十四款 下水道費 一、六三六
第四百五十五款 緊急費 一、六三六
第四百五十六款 水道費 一、六三六
第四百五十七款 公債費 一、六三六
第四百五十八款 地方改良費 一、六三六
第四百五十九款 諸稅費 一、六三六
第四百六十款 防空費 一、六三六
第四百六十一款 繳費費 一、六三六
第四百六十二款 排水防疫費 一、六三六
第四百六十三款 勤業諮詢費 一、六三六
第四百六十四款 傳染病預防費 一、六三六
第四百六十五款 汚物掃除費 一、六三六
第四百六十六款 下水道費 一、六三六
第四百六十七款 緊急費 一、六三六
第四百六十八款 水道費 一、六三六
第四百六十九款 公債費 一、六三六
第四百七十款 地方改良費 一、六三六
第四百七十一款 諸稅費 一、六三六
第四百七十二款 防空費 一、六三六
第四百七十三款 繳費費 一、六三六
第四百七十四款 排水防疫費 一、六三六
第四百七十五款 勤業諮詢費 一、六三六
第四百七十六款 傳染病預防費 一、六三六
第四百七十七款 汚物掃除費 一、六三六
第四百七十八款 下水道費 一、六三六
第四百七十九款 緊急費 一、六三六
第四百八十款 水道費 一、六三六
第四百八十一款 公債費 一、六三六
第四百八十二款 地方改良費 一、六三六
第四百八十三款 諸稅費 一、六三六
第四百八十四款 防空費 一、六三六
第四百八十五款 繳費費 一、六三六
第四百八十六款 排水防疫費 一、六三六
第四百八十七款 勤業諮詢費 一、六三六
第四百八十八款 傳染病預防費 一、六三六
第四百八十九款 汚物掃除費 一、六三六
第四百九十款 下水道費 一、六三六
第四百九十一款 緊急費 一、六三六
第四百九十二款 水道費 一、六三六
第四百九十三款 公債費 一、六三六
第四百九十四款 地方改良費 一、六三六
第四百九十五款 諸稅費 一、六三六
第四百九十六款 防空費 一、六三六
第四百九十七款 繳費費 一、六三六
第四百九十八款 排水防疫費 一、六三六
第四百九十九款 勤業諮詢費 一、六三六
第五百款 傳染病預防費 一、六三六
第五百一款 汚物掃除費 一、六三六
第五百二款 下水道費 一、六三六
第五百三款 緊急費 一、六三六
第五百四款 水道費 一、六三六
第五百五款 公債費 一、六三六
第五百六款 地方改良費 一、六三六
第五百七款 諸稅費 一、六三六
第五百八款 防空費 一、六三六
第五百九款 繳費費 一、六三六
第五百十款 排水防疫費 一、六三六
第五百十一款 勤業諮詢費 一、六三六
第五百十二款 傳染病預防費 一、六三六
第五百十三款 汚物掃除費 一、六三六
第五百十四款 下水道費 一、六三六
第五百十五款 緊急費 一、六三六
第五百十六款 水道費 一、六三六
第五百十七款 公債費 一、六三六
第五百十八款 地方改良費 一、六三六
第五百十九款 諸稅費 一、六三六
第五百二十款 防空費 一、六三六
第五百二十一款 繳費費 一、六三六
第五百二十二款 排水防疫費 一、六三六
第五百二十三款 勤業諮詢費 一、六三六
第五百二十四款 傳染病預防費 一、六三六
第五百二十五款 汚物掃除費 一、六三六
第五百二十六款 下水道費 一、六三六
第五百二十七款 緊急費 一、六三六
第五百二十八款 水道費 一、六三六
第五百二十九款 公債費 一、六三六
第五百三十款 地方改良費 一、六三六
第五百三十一款 諸稅費 一、六三六
第五百三十二款 防空費 一、六三六
第五百三十三款 繳費費 一、六三六
第五百三十四款 排水防疫費 一、六三六
第五百三十五款 勤業諮詢費 一、六三六
第五百三十六款 傳染病預防費 一、六三六
第五百三十七款 汚物掃除費 一、六三六
第五百三十八款 下水道費 一、六三六
第五百三十九款 緊急費 一、六三六
第五百四十款 水道費 一、六三六
第五百四十一款 公債費 一、六三六
第五百四十二款 地方改良費 一、六三六
第五百四十三款 諸稅費 一、六三六
第五百四十四款 防空費 一、六三六
第五百四十五款 繳費費 一、六三六
第五百四十六款 排水防疫費 一、六三六
第五百四十七款 勤業諮詢費 一、六三六
第五百四十八款 傳染病預防費 一、六三六
第五百四十九款 汚物掃除費 一、六三六
第五百五十款 下水道費 一、六三六
第五百五十一款 緊急費 一、六三六
第五百五十二款 水道費 一、六三六
第五百五十三款 公債費 一、六三六
第五百五十四款 地方改良費 一、六三六
第五百五十五款 諸稅費 一、六三六
第五百五十六款 防空費 一、六三六
第五百五十七款 繳費費 一、六三六
第五百五十八款 排水防疫費 一、六三六
第五百五十九款 勤業諮詢費 一、六三六
第五百六十款 傳染病預防費 一、六三六
第五百六十一款 汚物掃除費 一、六三六
第五百六十二款 下水道費 一、六三六
第五百六十三款 緊急費 一、六三六
第五百六十四款 水道費 一、六三六
第五百六十五款 公債費 一、六三六
第五百六十六款 地方改良費 一、六三六
第五百六十七款 諸稅費 一、六三六
第五百六十八款 防空費 一、六三六
第五百六十九款 繳費費 一、六三六
第五百七十款 排水防疫費 一、六三六
第五百七十一款 勤業諮詢費 一、六三六
第五百七十二款 傳染病預防費 一、六三六
第五百七十三款 汚物掃除費 一、六三六
第五百七十四款 下水道費 一、六三六
第五百七十五款 緊急費 一、六三六
第五百七十六款 水道費 一、六三六
第五百七十七款 公債費 一、六三六
第五百七十八款 地方改良費 一、六三六
第五百七十九款 諸稅費 一、六三六
第五百八十款 防空費 一、六三六
第五百八十一款 繳費費 一、六三六
第五百八十二款 排水防疫費 一、六三六
第五百八十三款 勤業諮詢費 一、六三六
第五百八十四款 傳染病預防費 一、六三六
第五百八十五款 汚物掃除費 一、六三六
第五百八十六款 下水道費 一、六三六
第五百八十七款 緊急費 一、六三六
第五百八十八款 水道費 一、六三六
第五百八十九款 公債費 一、六三六
第五百九十款 地方改良費 一、六三六
第五百九十一款 諸稅費 一、六三六
第五百九十二款 防空費 一、六三六
第五百九十三款 繳費費 一、六三六
第五百九十四款 排水防疫費 一、六三六
第五百九十五款 勤業諮詢費 一、六三六
第五百九十六款 傳染病預防費 一、六三六
第五百九十七款 汚物掃除費 一、六三六
第五百九十八款 下水道費 一、六三六
第五百九十九款 緊急費 一、六三六
第六百款 水道費 一、六三六
第六百一款 公債費 一、六三六
第六百二款 地方改良費 一、六三六
第六百三款 諸稅費 一、六三六
第六百四款 防空費 一、六三六
第六百五款 繳費費 一、六三六
第六百六款 排水防疫費 一、六三六
第六百七款 勤業諮詢費 一、六三六
第六百八款 傳染病預防費 一、六三六
第六百九款 汚物掃除費 一、六三六
第六百十款 下水道費 一、六三六
第六百十一款 緊急費 一、六三六
第六百十二款 水道費 一、六三六
第六百十三款 公債費 一、六三六
第六百十四款 地方改良費 一、六三六
第六百十五款 諸稅費 一、六三六
第六百十六款 防空費 一、六三六
第六百十七款 繳費費 一、六三六
第六百十八款 排水防疫費 一、六三六
第六百十九款 勤業諮詢費 一、六三六
第六百二十款 傳染病預防費 一、六三六
第六百二十一款 汚物掃除費 一、六三六
第六百二十二款 下水道費 一、六三六
第六百二十三款 緊急費 一、六三六
第六百二十四款 水道費 一、六三六
第六百二十五款 公債費 一、六三六
第六百二十六款 地方改良費 一、六三六
第六百二十七款 諸稅費 一、六三六
第六百二十八款 防空費 一、六三六
第六百二十九款 繳費費 一、六三六
第六百三十款 排水防疫費 一、六三六
第六百三十一款 勤業諮詢費 一、六三六
第六百三十二款 傳染病預防費 一、六三六
第六百三十三款 汚物掃除費 一、六三六
第六百三十四款 下水道費 一、六三六
第六百三十五款 緊急費 一、六三六
第六百三十六款 水道費 一、六三六
第六百三十七款 公債費 一、六三六
第六百三十八款 地方改良費 一、六三六
第六百三十九款 諸稅費 一、六三六
第六百四十款 防空費 一、六三六
第六百四十一款 繳費費 一、六三六
第六百四十二款 排水防疫費 一、六三六
第六百四十三款 勤業諮詢費 一、六三六
第六百四十四款 傳染病預防費 一、六三六
第六百四十五款 汚物掃除費 一、六三六
第六百四十六款 下水道費 一、六三六
第六百四十七款 緊急費 一、六三六
第六百四十八款 水道費 一、六三六
第六百四十九款 公債費 一、六三六
第六百五十款 地方改良費 一、六三六
第六百五十一款 諸稅費 一、六三六
第六百五十二款 防空費 一、六三六
第六百五十三款 繳費費 一、六三六
第六百五十四款 排水防疫費 一、六三六
第六百五十五款 勤業諮詢費 一、六三六
第六百五十六款 傳染病預防費 一、六三六
第六百五十七款 汚物掃除費 一、六三六
第六百五十八款 下水道費 一、六三六
第六百五十九款 緊急費 一、六三六
第六百六十款 水

一般強歩　大會を了りて（上）

體協臺北支部　岸本正賢

一、計畫の趣旨に就て

今回の強歩大會は從來實施せる各種の強歩大會と異り、單に強歩大會に止まらず、體育協會の趣旨に則り、一般强歩大會に於ても、體育協會の趣旨に則り、一般强歩大會に於ても、體育協會の趣旨に則り、一般强歩大會に於ても